

MI・RA・Is ユーザーフォーラム通信

2025/ 新春号 Vol.28

ユーザーフォーラム会長より新年のご挨拶



社会医療法人 高橋病院
高橋 肇先生

令和7年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
コロナ5類移行後、ほぼ以前の日常に戻ったものの、人流の増加や長期マスク生活による免疫低下からか、インフルエンザウイルスを始めとした複数同時感染症の流行により、まだまだ気の置けない日々が続いていることと思います。

電子カルテ MI・RA・Is をより使いやすく、充実したシステムへと発展することを目的として発足した MI・RA・Is ユーザーフォーラムは、今年で早や21年目を迎えます。MI・RA・Is ユーザー数は令和6年12月末現在で942件となりましたが、これもユーザーの皆様と、CSI社、賛助会員の皆様の温かなご指導・ご支援があった賜物と思っております。この場をお借りしまして心から厚くお礼申し上げます。

毎年200名以上の方にご参加頂いている年1回のユーザーフォーラム大会は、昨年7月11日にハイブリッド形式で開催することが出来、現地参加者も年々増加し216名と大変多くの方にお越し頂きました。この場をお借りしまして心から厚くお礼申し上げます。

事例発表演題はいずれも医療DXに沿った内容で、基調講演とともに大変参考になったとのアンケート結果を多数頂きました。

昨年は開催が叶わなかった、全国ユーザーフォーラム見学会、情報交換会につきましても、来年度の開催に向けて準備を進めているところです。同じ電子カルテを利活用しているユーザー同士の活発な交流により、切磋琢磨していけるよう取り組んでまいります。

昨年12月2日保険証が廃止（1年暫定期間）され、電子処方箋の普及は徐々に進み、いよいよ今年の春には全国10のモデル地区が、全国医療情報プラットフォームの構築に取り込んでいく予定であり、遅くとも2030年には概ねすべての医療機関において、必要な患者の医療情報を共有するための標準型電子カルテの導入を目指すこととなります。患者自身がマイナポータルを介し受診先の病院や利用する介護施設へ情報を開示する日も近いのではないのでしょうか。

乙巳（きのと・み）の1年は「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」とも言われています。私たちは常に前を見据え、ユーザー同士の交流がますます深まるようなユーザーフォーラムとする所存ですので、これからもご支援、ご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様の益々のご発展とご健勝を祈念しましてご挨拶に代えさせていただきます。

MI・RA・Is ユーザーフォーラム会長 高橋 肇

医療 DX Topics

令和6年3月に医療DXのポータルサイトが開設されました。
 (https://www.mhlw.go.jp/stf/iryoudx.html)

医療DXは、「医療DXの推進に関する工程表」に基づき、①全国医療情報プラットフォームの創設 ②電子カルテ情報の標準化等 ③診療報酬DX という3本の柱から推進されています。

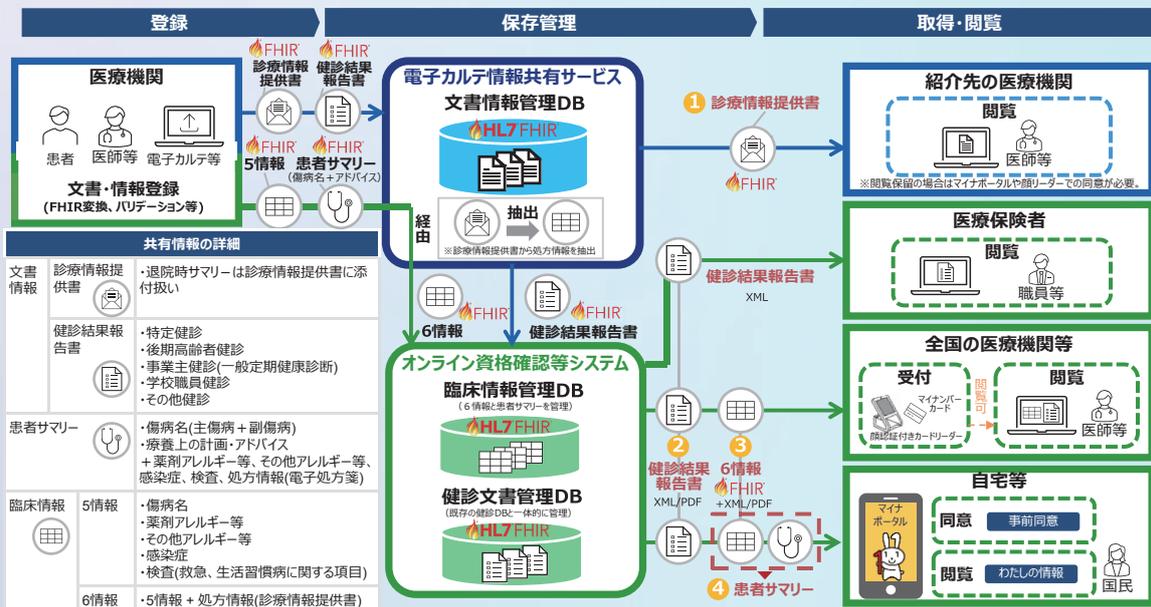
シーエスアイは、2022年に山形県酒田地域での電子処方箋モデル事業に参画する等、電子カルテベンダーとして医療DXの具体的な施策に様々な形で取り組んでおります。全国医療情報プラットフォームに記載されておりますオンライン資格確認(医療扶助)、電子処方箋(リフィル・口頭同意・マイナンバーカード)の対応に加え、今回はオンライン資格確認(救急時医療情報閲覧)と電子カルテ情報共有サービスについてご紹介させていただきます。

令和7年からの電子カルテ情報共有サービスにつきまして

標準規格 HL7 FHIR を利用した電子カルテ情報共有サービスが開始されます。

①診療情報提供書 ②各種健診結果 ③6情報 ④患者サマリーが保存管理され、患者本人・紹介先の医療機関・保険者が取得・閲覧できるようになります。

シーエスアイは、北海道函館地区と山形県のモデル事業に参画し MI・RA・Is シリーズ製品の対応について準備を進めております。

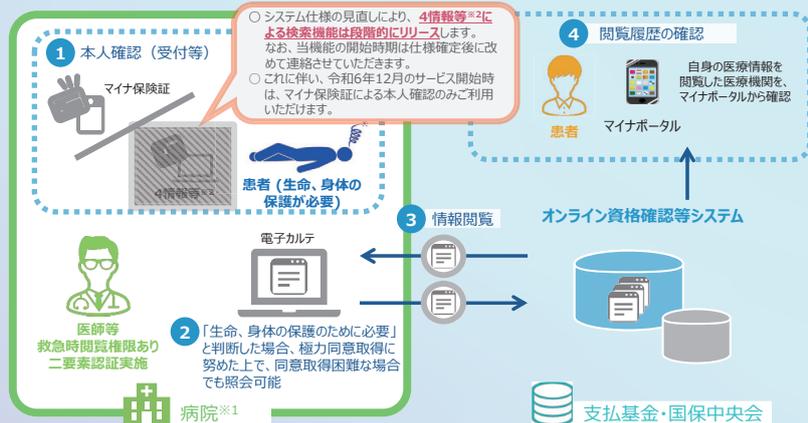


引用元：厚生労働省医政局 電子カルテ情報共有サービスについて <https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/001309907.pdf>

令和6年12月からの救急時医療情報閲覧機能につきまして

救急時医療情報閲覧機能により、病院においては患者の生命、身体の保護のために必要な場合、マイナ保険証による本人確認を行うことによって、患者の同意取得が困難な場合でも、レセプト情報に基づく医療情報等が閲覧できるようになります。

本機能は主に救急患者を受け入れる一次救急～三次救急告示病院および病院を対象とした機能となり、病院以外の医療機関等(診療所・薬局)には開放を想定しておりません。意識障害等の同意取得困難な患者に対しても、薬剤情報や手術情報等のレセプトに基づく医療情報を閲覧し、迅速かつ適切な検査・治療等への活用が期待されます。(令和6年12月時はマイナ保険証による本人確認のみ利用可能)なお、令和7年4月より、総合入院体制加算・急性期充実体制加算・下記加算を取るためには救急時医療情報閲覧機能が必要となります。



引用元：厚生労働省医政局 救急時医療情報閲覧 概要案内 <https://www.mhlw.go.jp/content/10200000/001243478.pdf>

医療の未来を築く、MI·RA·Is V (ファイブ)

医療安全、仕事効率向上、経営支援の3つの柱が、一般的な電子カルテの常識を超え、未来志向の医療DXを実現。標準機能の使いやすさに加え、最新テクノロジーが織りなす安心・安全な医療を提供するMI·RA·Is Vの機能強化内容の一部をご紹介します。

MI·RA·Is V ver1.1 の機能強化ご紹介

感染管理機能 デバイスサーベイランス

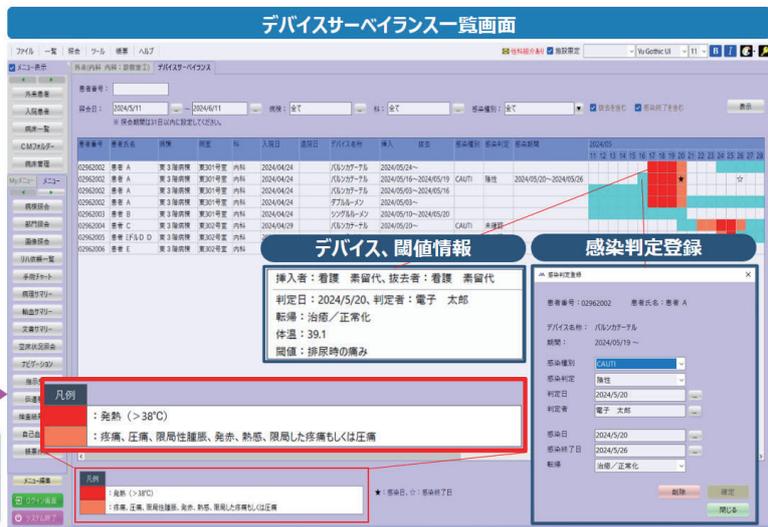
Vの新機能である感染管理機能は、院内感染対策上監視対象となっている耐性菌を監視し、新規に発生した監視対象菌の確認を行い、耐性菌に対する感染判定登録や感染予防策の登録などができます。チーム医療と連携した運用も可能です。さらに、ver1.1からはデバイスサーベイランス一覧画面にて中心ライン、尿道留置カテーテル、人工呼吸器という3種類の医療器具に関する感染症の発生状況に関する情報が一覧表示可能となりました。



看護支援機能で登録されたデバイス挿入/抜去情報を反映



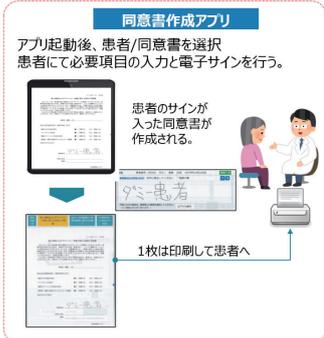
閾値を超えた体温や観察項目なども含めて表示することにより、感染疑い監視が可能です。



MI·RA·Is モバイル デジタルサイン

同意書のペーパーレス運用を可能とするデジタルサイン機能です。同意書データ(PDF)を作成する際、iPad 端末から患者本人にて必要項目の入力と電子サインが可能となります。患者サインが入った同意書は、一枚は患者本人にお渡します。院内は所定のフォルダーへ保存し統合レポートへの取り組みも可能です。

※長期署名の付与には、長期署名システムの手配が必要です。
※電子カルテバージョンによりプログラム対応や運用調整が生じる場合があります。
詳細はシーエスアイ・担当販売店へお問合せください。



ミライズ プラスエーアイ

MI·RA·Is + AI

MI·RA·Is シリーズの新たな DX 対応として、「MI·RA·Is + AI (プラスエーアイ)」を発売し、2025年3月より提供開始いたします。

「診療情報提供書や退院サマリの作成を支援するため、診療記事の要約機能を提供し、プロンプトのサンプルを共有するなど、更なる利便性の向上を目指しています。

主な特徴

1. オンプレミス環境でのスムーズな動作
2. 利用者が自由にカスタマイズ可能な AI 活用
3. 医療機関間でプロンプトを共有・交換できる機能



MI・RA・Is ユーザーフォーラム ホームページ全面リニューアルしました!

ホームページ全面リニューアル



Check !!

より使いやすいホームページを目指して、構成を見直し、新規機能を追加いたしました。

これまで以上に、お客様に有益な情報をお伝えできるように努めて参ります!

会員登録は下記より!



ユーザー登録方法

1. **こちらにアクセス!**



<https://mirais.csiinc.co.jp/>

2. 「**はじめての方はこちら**」をクリック



ここで会員情報を登録します!

※事務局にてご入力いただいた内容を確認させていただいたのち、登録完了のご連絡をさせていただきます。

3. **登録完了!**



時代の変化に対応し、医療環境における課題を解決する MI・RA・Is V 医療安全、仕事効率の向上、経営支援の3つのコンセプトで、使いやすく進化する電子カルテが、安心と革新を提供します。



クラウド型電子カルテ「MI・RA・Is/Q5」のサービスコンセプトとして、小規模医療機関における電子カルテ採択に向け、様々な課題を解決する4つの“S”



2023年にスタートした『医療DX令和ビジョン2030』も今年で3年目を迎えます。電子カルテの標準化やAIを活用した診療支援システムの進化など、変化の著しい医療業界ですが、弊社および事務局は引き続き医療DXの推進に取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
MI・RA・Is ユーザーフォーラム事務局

ユーザーフォーラムサイトはこちら! →→

MI・RA・Is ユーザーフォーラム事務局
株式会社シーエスアイ 事業推進本部

TEL : 03-5944-6120 Email : mirais-uf@csiinc.co.jp
FAX : 03-5944-6122 WEB : <https://mirais.csiinc.co.jp/>

